



海外感染症情報

学術データインフォメーション課
(フリーダイヤル 0120-14-8734)

地域	日付	感染症情報
	2010年12月07日	アジアとインド洋地域におけるチクングニヤ熱の流行状況 ★
中米	2010年12月03日	ハイチでコレラが流行しています 続報
	2010年12月01日	エジプトからイタリアに帰国した旅行者にみられた、 Alkhurma 出血熱
アフリカ	2010年11月30日	ナイジェリアでコレラが流行しています
	2010年11月26日	2010年10月から11月にかけてみられている、 コンゴ共和国の急性弛緩性麻痺アウトブレイクについて
中米	2010年11月26日	ハイチでコレラが流行しています 続報
アフリカ	2010年11月22日	コンゴ共和国でポリオが流行しています 続報
	2010年11月20日	鳥インフルエンザ流行状況－中国香港特別区(Hong Kong, SAR)
	2010年11月19日	警報:アメリカ地域でのデング熱 更新情報
アフリカ	2010年11月19日	ウガンダ北東部で出血熱患者の発生が疑われています

※特に注目すべき情報をピックアップして掲載しています。★…詳細情報を下段に掲載しています。

出典元:厚生労働省検疫所ホームページ(URL: <http://www.forth.go.jp/index.html>) 新着情報、最新ニュース

【2010年12月7日更新 アジアとインド洋地域におけるチクングニヤ熱の流行状況】

■臨床医に対する助言 (厚生労働省検疫所ホームページ「最新ニュース」より)

臨床医の方は、現在、地球規模でチクングニア熱の活動性が高くなっていることを認識しておいてください。チクングニア熱は、発熱、悪寒、全身の筋肉痛などのマラリア、デング熱などと同様の症状で発症する可能性があります。しかし、急性期が過ぎた後にも、チクングニア熱の患者は関節痛や関節炎が長引くことがあります。このため、医療従事者がリウマチ性疾患の可能性を考え、検査を始めてしまう可能性があります。チクングニア熱による関節痛や関節炎は、数ヶ月間に渡り持続する可能性があります。さらに情報が必要であれば、CDCの「海外旅行のための健康情報 2010」の「チクングニア熱」のセクションをご参照ください。